

坂本中学校学校版環境ISOの取組

1 宣言

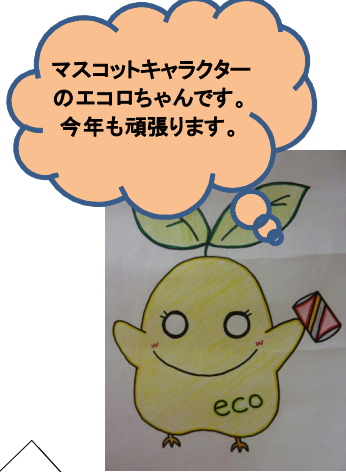
「持続可能な社会の形成者」の育成を目指し、学校版環境ISOの活動に取り組み始めて8年目になる。本年度も各学級で環境ISO活動や宣言項目の見直しを行った後、6月に開催した生徒総会において、宣言項目を決定した。

なお、その理由は次のとおりである。

Plan
(宣言)

平成23年度版 坂本中学校
学校版環境ISO宣言項目
テーマ・物を大切にしよう

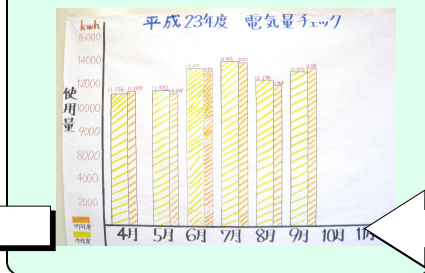
- ・ 食べ物を大切にしよう
- ・ 紙を大切に使用
- ・ 節電をしよう
- ・ 節水をしよう



Action (見直し)



Check (記録)
生活委員会電気料量チェック



Do (行動)



【宣言項目設定の理由】

環境ISO活動を継続させるにはシンプルさが大切である。又、宣言項目を変更するより、これまでの項目を再度意識して実践することが大切という理由で、本年度も昨年度の宣言項目が受け継がれることになった。

4つの宣言項目以外にも「物を大切にしよう」というテーマが採用された。3R (減らす・再利用する・再資源化する) の中でもリデュース (減らす) が、「ゴミを減らす」「ゴミそのものを出不さない」という行動で、環境に一番優しく、21世紀型スタイルとも言われる。

学校生活では、落とし物の鉛筆や消しゴムなどで使えるものは捨てないで有効に使ったり、使えるノートは捨てないで使えるページを集めて、自由帳として再利用したりすることである。これは、「物を大切にしよう」というテーマそのものでもある。

宣言項目が4つで活動しやすい！
これが長続きさせるコツです！

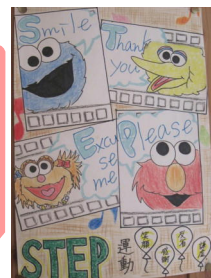


【環境ISO活動の基盤づくり】～STEP・6S運動～

本校では、環境ISO活動等の基盤づくりのために、日常活動として人や物を大切にすることをSTEP運動や6S運動を推進している。

STEP運動 (笑顔・感謝・反省・謙虚)

6S運動 (整理・整頓・清掃・清潔・サービス・習慣化)



STEP運動のポスター



6S運動のポスター

2 行動

【各委員会での取組】

本校の学校版環境ISOの特徴は執行部や環境委員会だけで取り組むのではなく、すべての委員会で行動していく所にある。平成23年度は以下の活動を実施している。

平成23年度坂本中学校の委員会と「環境ISO」関連活動

委員会名	「環境ISO」関連活動	
執行部	生徒総会の運営、教室の机・棚の整理チェック	
環境	ゴミの計量（毎週）、ごみの分別、美化コンクール、学校版環境ISOについての取組発表（文化祭）、環境テスト問題作成、置き傘チェック、坂中エコワーク・坂中ISOコーナー整理・環境家計簿（家庭版環境ISO）整理・掲示	
生活	電気使用量チェック・電気使用量グラフ作成、掲示物チェック	
健康	歯磨きチェック（節水の呼びかけ）・残菜チェック、廃油石鹸づくり	
広報	節電・節水の放送、ホームページ作成	
学習文化	教室にある紙の回収、分別、リサイクル・リユースコーナーの整理	
体育	体育倉庫の整理・整頓	
図書	「環境の本」コーナーの設置と紹介・本の分類	

【節電と節水】

広報委員会が節電・節水の放送担当である。節水については、掃除の時間にバケツを使用する・歯磨き時にコップを徹底する等、全校生徒が日々取り組みを実践している。

なお、節電については掃除時間に自然の光で清掃できる教室は電気を消して行う等、生活を見直して工夫している。電気使用量については生活委員会がグラフを作成し坂中ISOコーナーに掲示している。



【坂中エコワーク】

今年度は県環境政策課から講師をお招きして「海の再生」と題してご講話いただいた。八代海の魚の養殖業と環境、海の再生（川のごみを減らすことが海の再生につながる）ことを学ぶことができた。講話後、環境委員会からエコワークの提案があり、現在は全校生徒に呼びかけて月に一度、40分ほどかけて本校近くの球磨川周辺を清掃活動している。エコワークの継続により、以前よりゴミの量が減っている現状が伺える。



【教室から出るごみの減量化】

環境委員会ではゴミの分別を行っている。又、毎週金曜日に、教室から出るごみの量を計ってグラフ化して学級の意識が高まるように努めている。

学習文化委員会は、毎週金曜日、教室から出る紙を、リユースコーナーにサイズごとに分別している。リユース（再利用）はもちろんのこと、リサイクル（再生利用）するために、両面を使いきった紙は、白い紙とざら紙に、パンフレット類は、針のついたものについていないもの、計4種類に分別している。

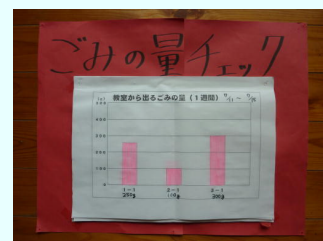
ゴミを出さないように全校で取り組んだ結果、今年は昨年よりもゴミの量を軽減することが出来た。



ゴミの分別



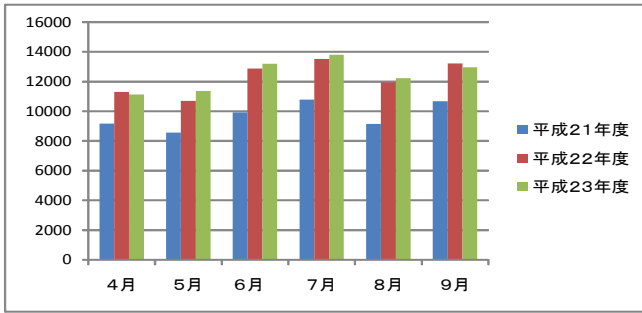
紙のリサイクル



教室から出るごみの量

3 記録

【電気の使用量 (kw)・生活委員会】

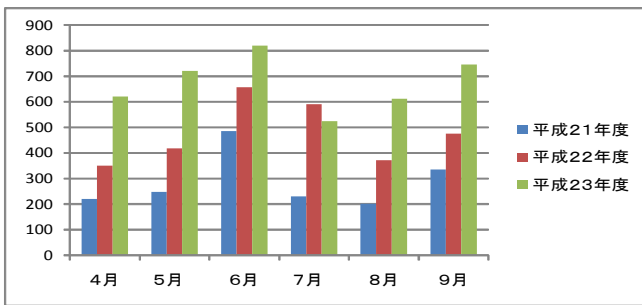


各月の電気使用量の比較

青 (H21年度)、赤 (H22年度)、緑 (H23年度)

※平成22年度から体育館で夜間に社会人体育が行われるようになったため電気使用量が上昇している。

【水の使用量 (m³)・広報委員会】

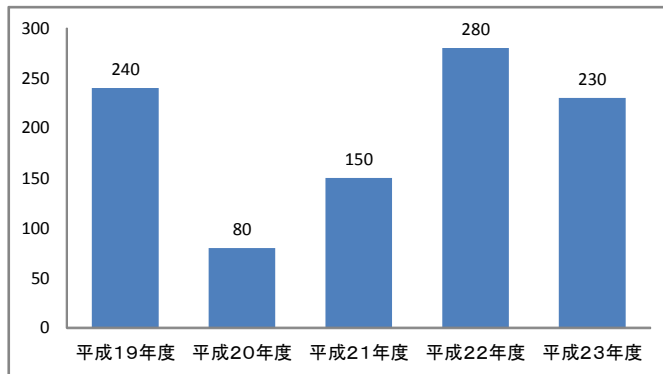


各月の水道使用量の比較

水色 (H21年度)、桃色 (H22年度)、緑 (H23年度)

※水道使用量が増えているのは漏水のためであり、現在修理中である。

【教室から出るごみの量 (g)・環境委員会】



一週間に1クラスから出るゴミの量
※全データを平均したもの

【環境に関する本の紹介・図書委員会】

森よ生き返れ 宮脇昭著 ごみから地球を考える 八太昭道著
地球の宝石 ブラッドリー・トレバー・グリーン/文 岩合光昭/写真

【水の作文コンクールへの応募】

水や川、海を大切にしようという心を育み、水の恵みに感謝するだけでなく、坂本の川、山、大気を守り伝えていこうというねらいをもって毎年、「水の作文コンクール」へ応募している。

- 平成16年度 第26回「全日本中学生 水の作文コンクール」熊本県賞受賞
- 平成20年度 第30回「全日本中学生 水の作文コンクール」入選受賞
- 平成21年度 第31回「全日本中学生 水の作文コンクール」入選・学校賞受賞
- 平成22年度 第32回「全日本中学生 水の作文コンクール」入選・熊本県賞受賞
- 平成23年度 第33回「全日本中学生 水の作文コンクール」熊本県賞受賞

【廃油石鹸づくり・健康委員会】



給食室から出た廃油を利用して竹炭・コーヒー・ラベンダー・ローズ・お茶の石鹸を作り、文化祭のバザーで販売しました。収益金12700円は東日本大地震災害の義援金として日本赤十字社に送りました。

電気使用量、水道の使用量、教室から出るゴミの量のデータも揃ってきました。給食の食べ残しは、データはありませんが、ほぼゼロです!



環境テストも毎年行っています。今年も、宣言項目や6S運動、STEP運動、3R、自分のできる取り組みなどの問題を出題しました。

【家庭版環境ISO・環境委員会】

長期休業中、家庭でも1週間エコライフに取り組んでいただき、環境に関する意識の向上を図っている。



夏休みに全校生徒が実践した家庭版環境ISO (環境家計簿)

図書室には、環境コーナーがあります。だいぶ本の種類も増えました。



4 見直し(成果と課題)

文化祭はこれまでの活動を見直す場であると捉え、各委員長が学校版環境ISOの成果や課題を発表している。学校の取組を地域へ向けて発信するよい機会でもある。本年度の発表内容は、下表のとおりである。

これらの活動等によって、宣言項目のテーマでもある「物を大切に」する学校づくりができていることを何よりの成果だと考える。これからもよき伝統となるように継続して取り組んでいきたい。
【各委員会での見直し(文化祭における発表内容)】

委員会名	成 果	課題(見直し)
執行部	無言清掃に取り組んだ。また、一昨年に引き続き、机・棚チェックに力を入れた。悪かったクラスには改善を呼びかけた。これによってエナメルなどのバッグもきれいに並べられるようになり、6S運動の意識づけができた。	無言清掃が徹底するように呼びかけ、校内の環境が更に整うように努める。
環 境	定期的に坂中エコワークを実践した。歩いた場所から長く放置されたペットボトルやたばこの吸い殻・お菓子の袋等を拾い、球磨川周辺のごみを減らすことができた。又、校内ではゴミの量を計測、削減を呼びかけた。エコワークで集めたゴミと校内のゴミはその都度分別して、リサイクルを行い「混ぜればごみ、分ければ資源」の発想を校内に浸透させることができた。	文化祭の学校版環境ISOの取り組み発表準備は、委員長と環境委員の3年生を中心に行った。今後は後輩と役割を分担して、これまでの取り組みをしっかりと伝えていきたい。
生 活	電気使用量チェックを毎月行い、電気使用量のグラフ作成の際には、昨年度と比較できるように工夫した。節約が可能か判断する良い目安となった。新たに掲示物チェックの取組を実施し、校内の期限切れの掲示物を整理することができた。	電気使用量は夜間に社会体育で体育館を使用していることで実際の使用量が分かりにくい。しかし、節約できる部分も多くあるので、引き続き節電の呼びかけを行っていく。
健 康	水の節約のため、歯磨きのコップ所持率は100%になるまで呼びかけた。「残菜チェック」の結果は大変良好である。給食から出た廃油で石鹸を作り、文化祭のバザーで販売。今年は竹炭・コーヒー・ラベンダー・ローズ・お茶の石鹸を作った。売上金は、東日本大地震災害の義援金として日本赤十字社に送った。	寒くなってくると、牛乳を飲まない人がいるので、健康面での大切さを伝え完食するように呼びかけていきたい。
広 報	昼休みに放送による節電・節水の呼びかけを行った。ホームページの作成も行うことができるようになった。	ホームページは内容や取り組み方法を含め、検討していく。
学習文化	教室にある裏紙の整理を継続して取り組むことができた。各種テストの問題や文化祭のテーマ・シンボルマークの募集用紙にはリユースコーナーの紙を利用した。	印刷機がつまらないように、再利用する紙の状態や向きをチェックする。
体 育	体育倉庫の整理・清掃が特によくてきた。石灰も大切に使用できている。体育館も掃除が徹底するように心掛けた。	美しい体育倉庫の使用について、「整理」「整頓」「清潔」にそして“大切に”を意識するように呼びかけたい。
図 書	今年も新たに環境に関する本を購入することができ、図書館の環境コーナーが更に充実した。本を大切に使う雰囲気づくりに努めた結果、本の修理をすることが少なくなってきた。	環境に関する本の紹介を継続して行い、環境ISOに関する知識と・理解を深めていきたい。

その他 環境教育に関して、継続して取り組んでいる活動がある。

【坂中の森づくり】

平成17年2月に坂本八竜山の荒れ地で植林する体験活動が行われた。これが「坂中の森づくり」のはじまりである。この植林が球磨川の水を美しくし、生き物の命につながることを学習し、定期的に下草刈りを行っている。今年も3年生が「坂中の森」を綺麗に整備することができた。



(現3年生下草刈りの様子)